



家庭用エリプティカルバイク DK-8900

取扱説明書



このたびはエリプティカルバイク(家庭用)DK-8900をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

◎まず、**本説明書を最後までお読みください。**

内容を十分ご理解いただいた上で正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

◎ 本書巻末に「保証書」がついていますので、配送業者の送り状伝票とともに大切に保管してください。

◎ 本機は家庭用※として軽頻度の運動向けに開発・設計しています。

※設計上、トレーニングジム・介護・福祉・教育の現場、ホテル・マンション・オフィスなどの共用設備の使用は想定していません。

保証の期間・内容に影響しますので予め用途をご確認くださいようお願い申し上げます。

◎ 改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合があります。

※本書に記載されている数値は、実数と多少の差異が生じる場合があります。予めご了承ください。

安全上の注意

取扱説明書の注意及び警告内容は、危険の度合いによって2段階に別れております。記載されている内容をよく理解していただき、取扱説明書に従ってご使用ください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容

- 1) 無理をせず軽いスピードから始めて下さい。
- 2) 急激な運動は体に負担が掛かりますので、少しでも異常を感じましたら運動を中止して下さい。
- 3) お子様、本機を使用したり、遊ばないようにして下さい。また、使用中はお子様が近づかないようにして下さい。お年寄りの方が運動されるときには、必ず付添の人をつけて行って下さい。
- 4) お年寄り・体の不自由な方、病気をお持ちの方のトレーニング・リハビリ用にご使用の場合、必ずかかりつけの医師にご相談下さい。
特に次のような方(心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカー・人口心肺装着の方)
- 5) 内部点検や修理の際は販売店の指示に従って下さい。
各部の機能が正しく作動しているかどうか、またネジ・ボルト等の緩みやガタつきがないか、使用前に必ず点検して下さい。
- 6) 乗降する場合には、本機にもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品及び使用者を押ししたり引いたりしないで下さい。運動の妨げとなったり、安全性を損ないケガをしたりする場合があります。
- 7) 同時に2人以上でご使用なさないで下さい。



注意

誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容

- 1) トレーニングの前後に必ずストレッチ(準備体操)を入念に行ってください。
トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは必ずトレーニング前後に行うように習慣をつけましょう。
- 2) 食後のトレーニングはやめましょう。胃に流れる血液が、体を使うことにより胃に流れにくくなって消化に影響を与えるので、食後2時間位あけてトレーニングをして下さい。
- 3) ご使用時は、必ず運動靴を履き、回転、駆動部に巻き込まれる恐れがある紐等のない服装で、ご使用下さい。
- 4) 運動方法につきましては、使用方法以外での使用はおやめ下さい
- 5) 本機は一般家庭用のトレーニング機として作られています、一般家庭以外でのご使用はおやめ下さい。(家庭用以外でのご使用の場合には無償修理交換の対象外になります。)
- 6) 異物を商品内部に入れないでください。異物が入ったまま使用すると故障の原因となります、特にお子様のおられるご家庭では注意して下さい。
- 7) 体重が100Kg以上の方はご使用なさないようにして下さい。
- 8) 過度な筋力トレーニングでの連続使用はおやめください。
- 9) 60分以上の連続しての使用はなさないでください。
- 10) サビの発生や負荷の調節不調、メーター等の故障の原因となりますので次の場所には設置、保管はしないで下さい。
 - ・直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所
 - ・屋外の設備(屋根付ガレージ等)や浴室付近等の湿気の多い場所
 - ・磁気や電氣的雑音の発生しやすいものの近く

☆保管上の注意事項

- ご使用前にはハンドル・接合部分のガタや、緩み等がないよう確認して下さい。
- 本機は使用中の運動が十分確保できる水平な床面に設置して下さい。
- 使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、必ず周囲を整理整頓してからご使用下さい。
- 本機は必ず平らな場所に設置して下さい。
- 廊下やフローリングまたは畳の部屋で組立てやご使用になると、床を傷つける場合があります。必ず布やカーペットを敷いて傷を付けないようにして下さい。
- 本機を廃棄する場合は、粗大ごみとして各自治体の方法に従って処理してください。
- ペダル及びベルト、サドル、バックレスト、ノブボルト、ハンドル等のラバーは消耗品のため、ご購入日より3ヶ月以上経過したものについては有償となります。(家庭用使用の場合に限ります。)



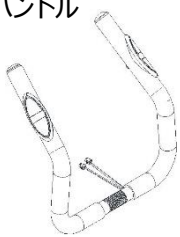
仕 様

品名: エリプティカルバイク
 型番: DK-8900
 本体重量: 50kg
 本体サイズ: W60×L130×H158(cm)
 使用者体重制限: 100kg

材質構造: スチールパイプ・ウレタン・ABS樹脂
 負荷方式: 電動負荷マグネット式(32段階)
 使用電源: ACアダプター
 脈拍検知方式: ハンドグリップ式
 生産国: 中国

パーツ早見表

**パーツ表の中には本体に装着されているものがあります。
 ステップごとに必ず確認してから組立てをおこなってください。**

<p>1: 本体</p> 	<p>2: フロントスタンド (キャスター機能付)</p> 	<p>3: リアスタンド</p> 	<p>4A: ポストカバー 4B: P ラバー</p> 	
<p>6: ステップ</p> <p>6-L: 左  6-R: 右 </p>				
<p>5: ポスト</p> 	<p>7: ホルダー</p> 	<p>8: ハンドルバー</p>  <p>9: ステップバー (右・左各1)</p> 	<p>10: ジョイント ハンドル (右左各 1)</p> 	<p>11: 可動ハンドル</p> <p>11-L: </p> <p>11-R: </p>
<p>12: センターカバー 2組</p> 	<p>14: ハンドル</p> 	<p>16: パネルステー</p> 	<p>18: ハンドルボルト</p> 	
<p>13: ボトムカバー 2組</p> 	<p>15: ハンドルカバー</p> 	<p>17: パネル</p> 		

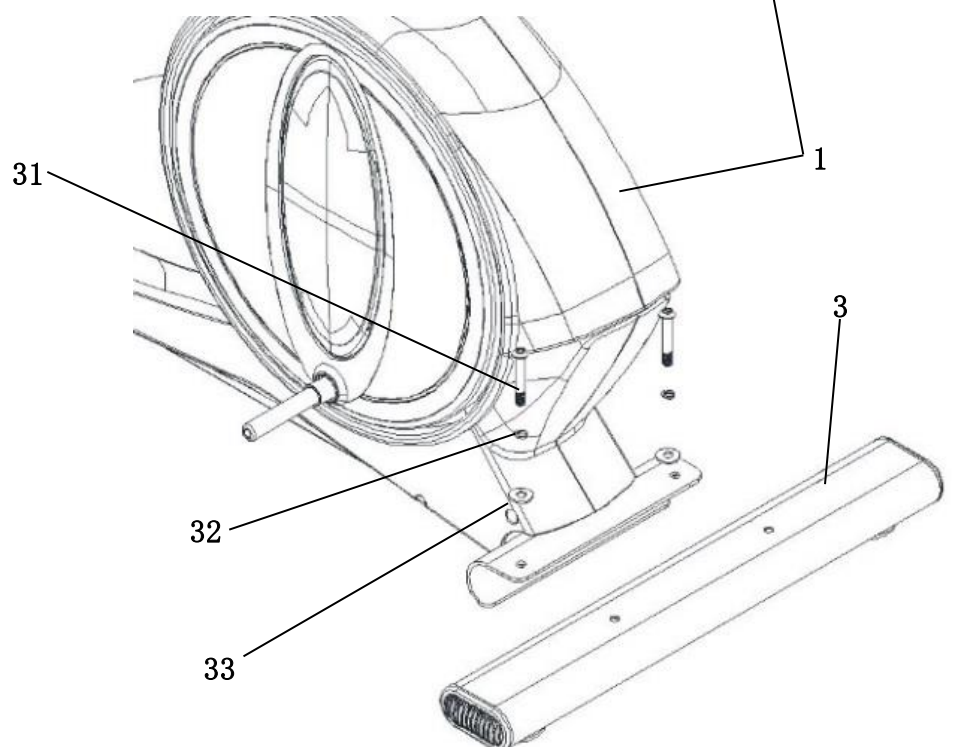
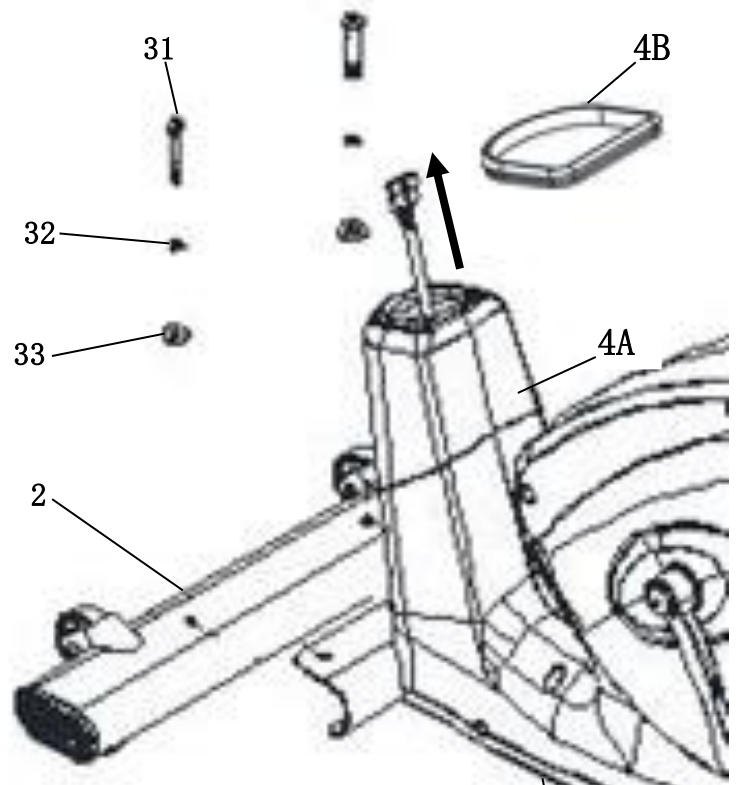
組立方法

*ステップ 1 から順番に組み立てて下さい。パーツにボルト等がついていますので、必ず確認をしてください。
(1・本体やパーツについているネジが欠落している場合がありますので、梱包されていた箱の中、緩衝材の中も確認してください。 2・本体についているネジは必ず作業を行う直前にはずしてください。 *先に外してしまうとどの部分のボルトが分からなくなりますので必ずお守りください。)

ステップ 1 (スタンドの取付)

<1> 1:本体についている 4A:ポストカバー、
4B:Pラバーを外します。

<2> 1:本体前方に、2:フロントスタンド、後方に
3:リアスタンドをそれぞれ取り付けます。



ステップ 2 (ポストの取付)

<1> ステップ 1 で外した 4A : ポストカバー、4B : P ラバーを 5 : ポストに挿入し、

5 : ポストから出ているコネクタと 1 : 本体から出ているコネクタを接続します。

中央にあるコネクタ (点線部分) をつなぎます。


<2> 5 : ポストを 1 : 本体に差込、ボルト等でそれぞれ固定し、4A : ポストカバー、4B : P ラバーを下ろします。


5 : ポストやボルト等を入れる時に、コネクタ・線を破損させないようにして下さい。


※ボルト類を固定する際、中に入っているメインコードを傷つけないようにして下さい。


※正面から入れるボルトが入りづらい場合には、ボルトを多少上向きにすると固定しやすくなります。


 34:M8×65 ボルト 3 本

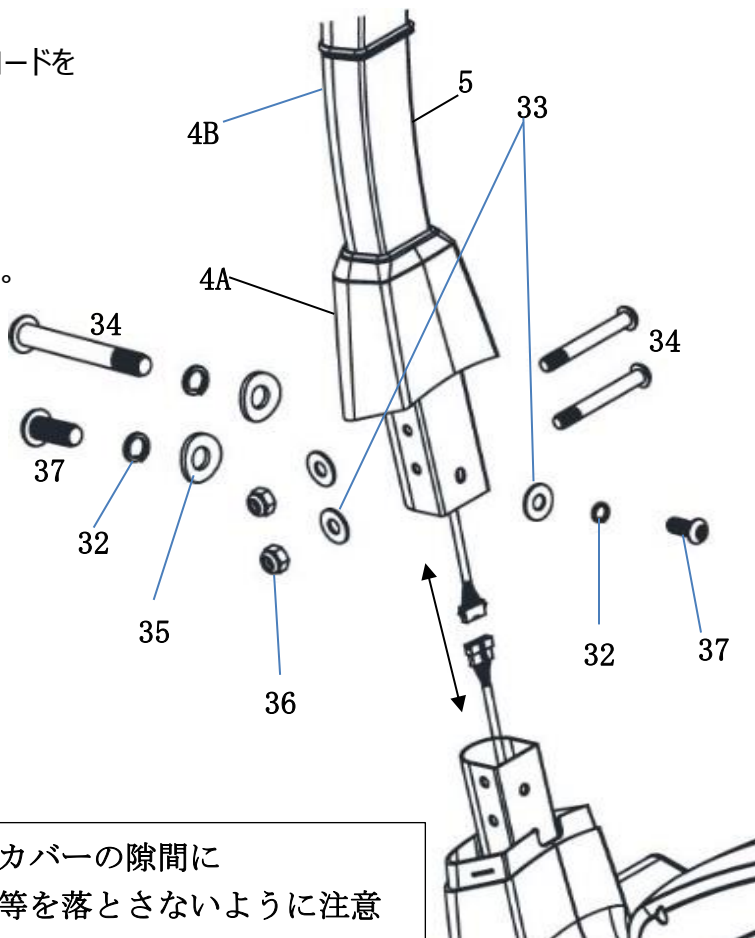
 32:S ワッシャ 3 枚

 35:R ワッシャ 2 枚

 33:M8 平ワッシャ 3 枚

 36:M8 ナット 2 個

 37:M8×20 ボルト 2 個





本体とカバーの隙間にボルト等を落とさないように注意して作業を行ってください。


ステップ 3 (ステップ・ハンドルバーの取付)

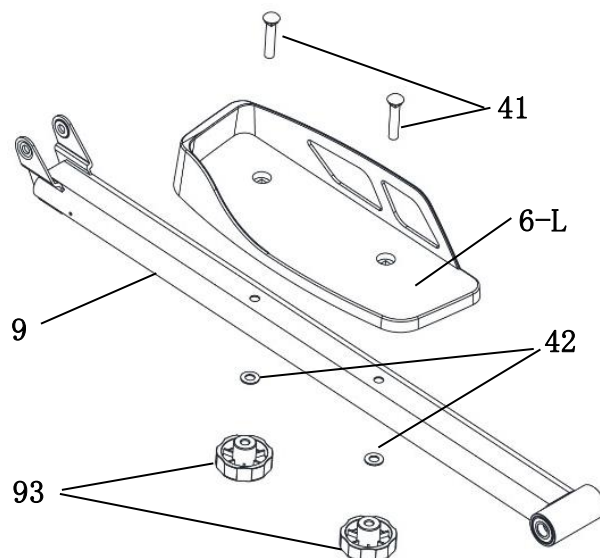
<1> 9 : ステップバーに 6 : ステップを固定します。

(左右それぞれ組み立ててください。)

 41:M10×50 ボルト 4 本

 93:ノブナット 4 個

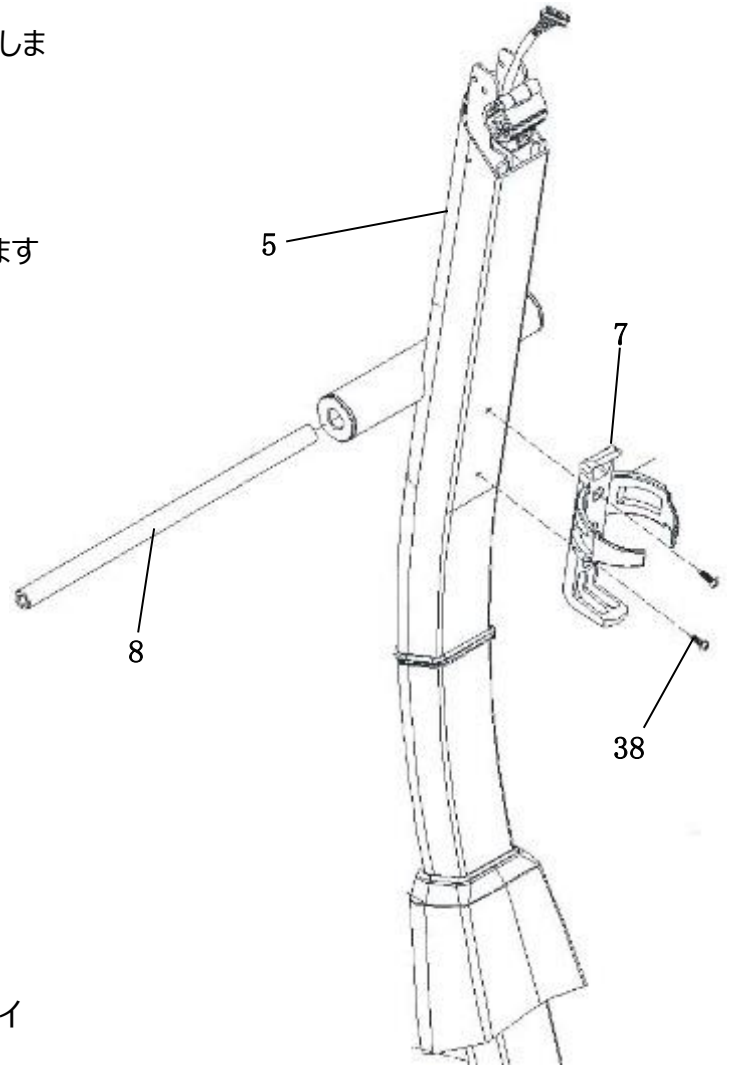
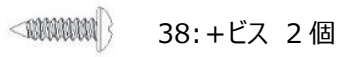
 42:平 M10 ワッシャ 4 枚



<2> ①7 : ホルダーを 5 : ポストに 38 : ビスで固定します。

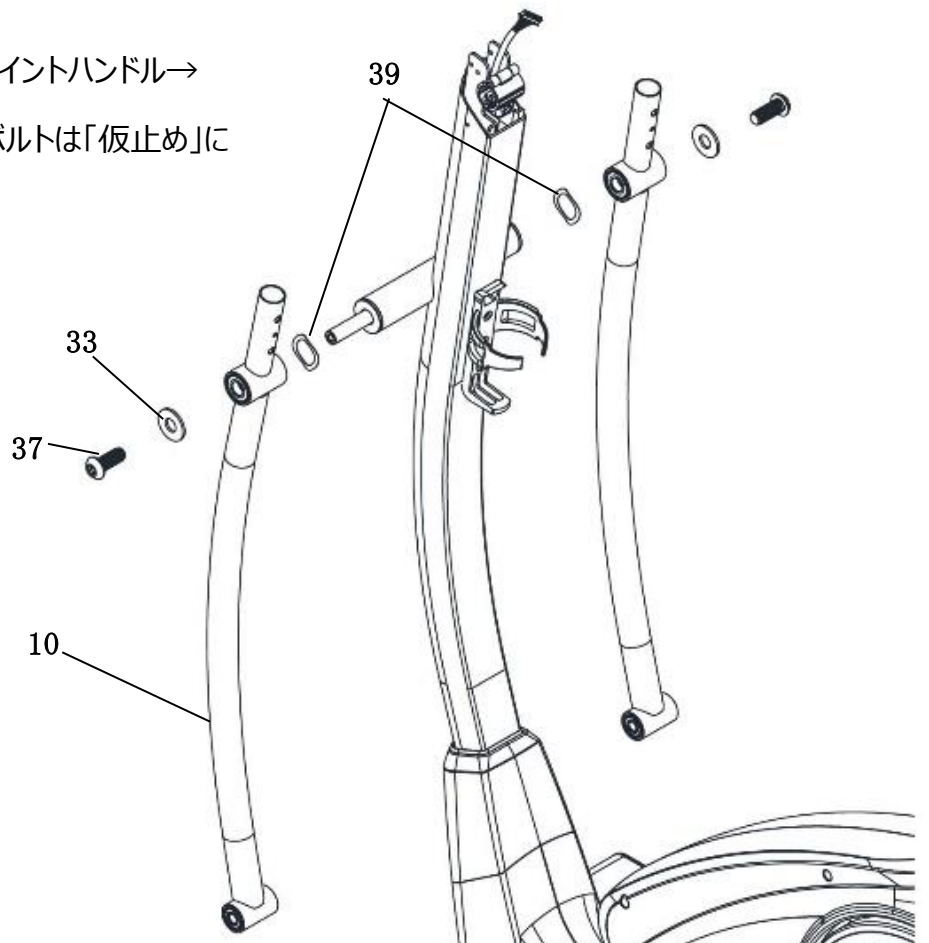
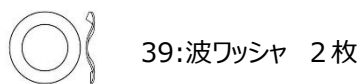
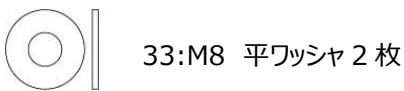
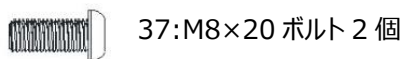
②5 : ポストに 8 : ハンドルバーを差し込みます。

(※8 : ハンドルバーを差し込むと中から「グリス」がでますので、ティッシュ等で拭き取ってください。)



<3> <2> で差込んだ 8 : ハンドルバーに 10 : ジョイントハンドルを取付けます。

(内側から順に 39 : リング→10 ジョイントハンドル→33 : ワッシャ→37 : ボルト) ※37 ボルトは「仮止め」にしておいてください。





<4> <1> で組立てたステップ部を<3> で取付けた

10 : ジョイントハンドル及び 1 : 本体に固定します。


(右・左両方ともに組立えます。)


※すべてのボルトを一旦仮止めにしてから最後に本締めをしてください。その際、<3> で仮止めにした 37 : ボルトの本締めも行ってください。


 44:57mm ボルト 2 本

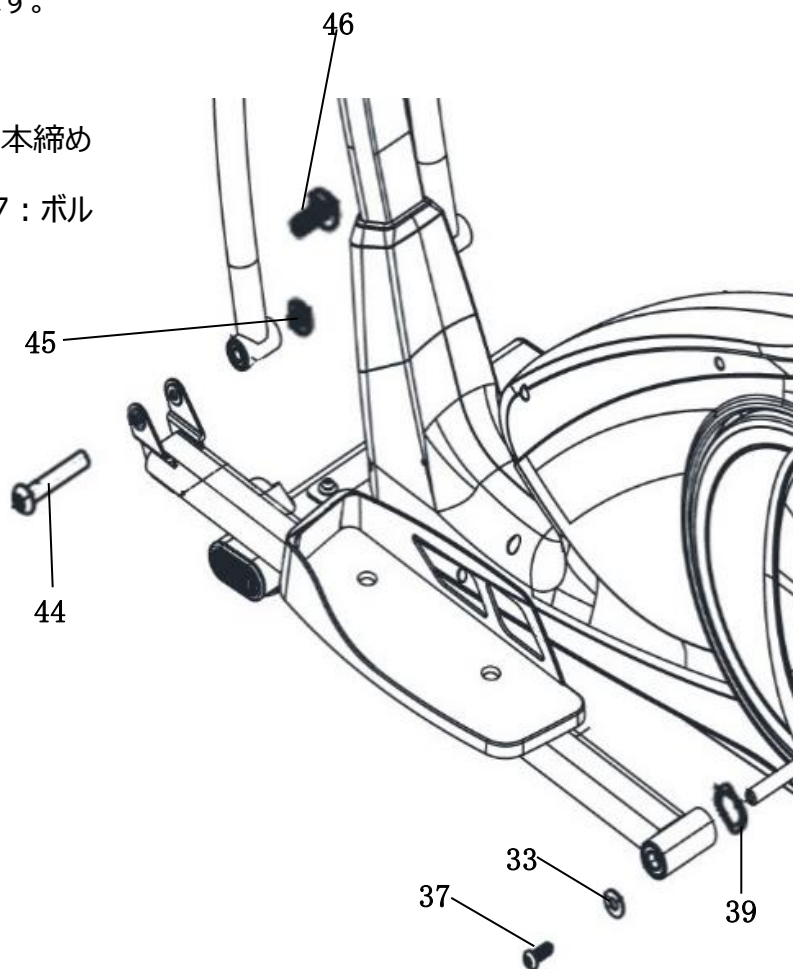
 45:M6 平ワッシャ 2 枚

 37:M8x20 ボルト 2 個

 46:M6x15 2 本


 39:波ワッシャ 2 枚

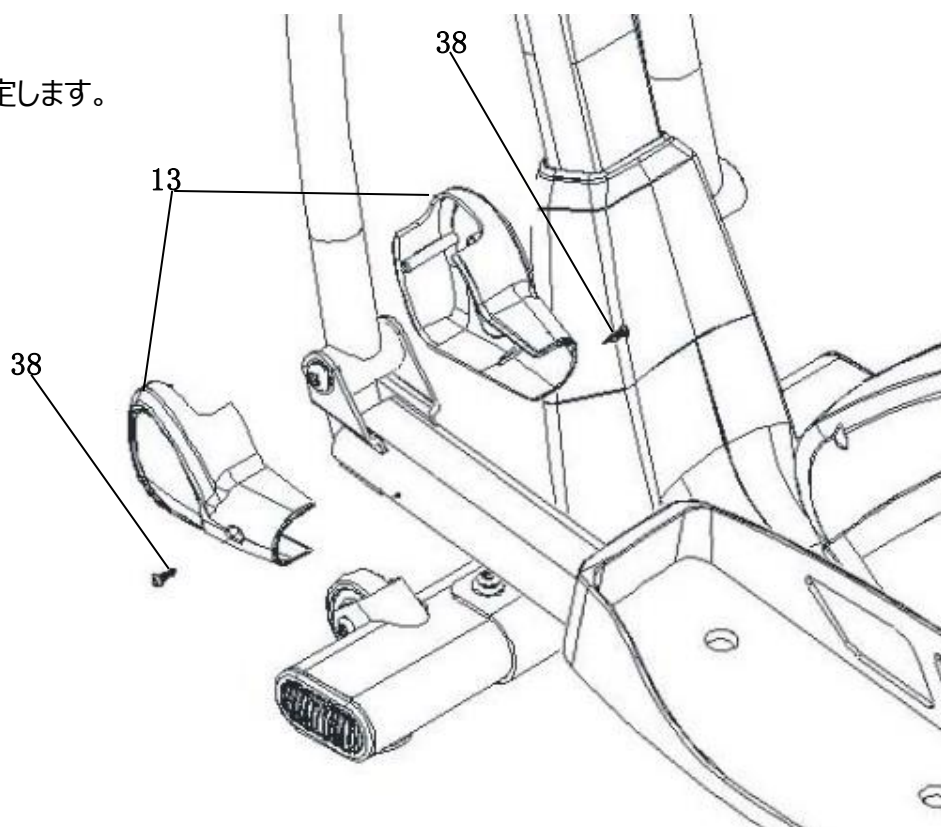
 33:M8 平ワッシャ 2 枚



<5> 13 : ボトムカバーをビスで固定します。

(右・左取付けます。)


 38:+ビス 4 個



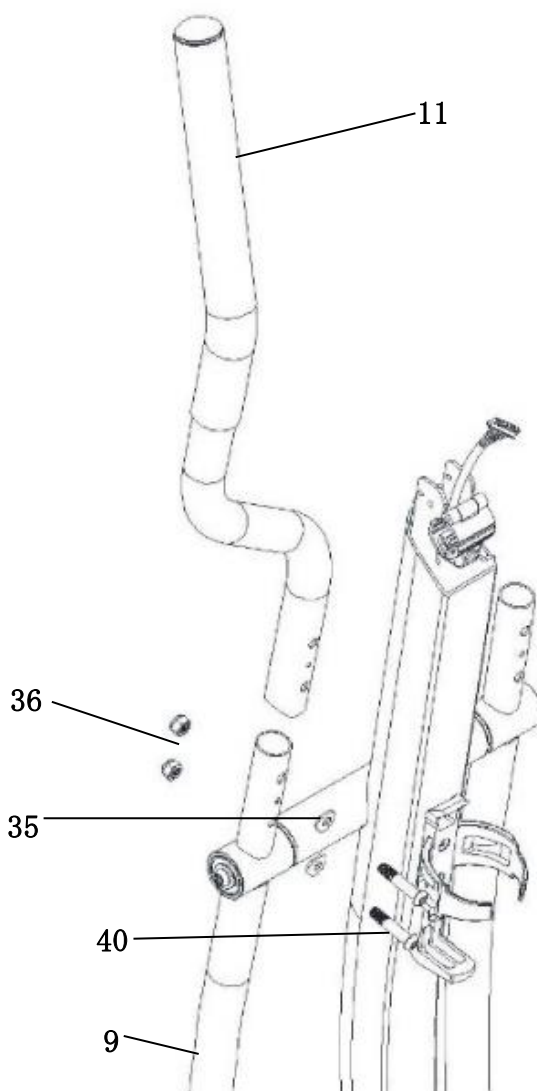
ステップ 4 (可動ハンドルの取付)

<1> 11 : 可動ハンドルを 10 : ジョイントハンドル上部
に取付けます。(右・左両方取付けます。)


 36:ナット 4 個

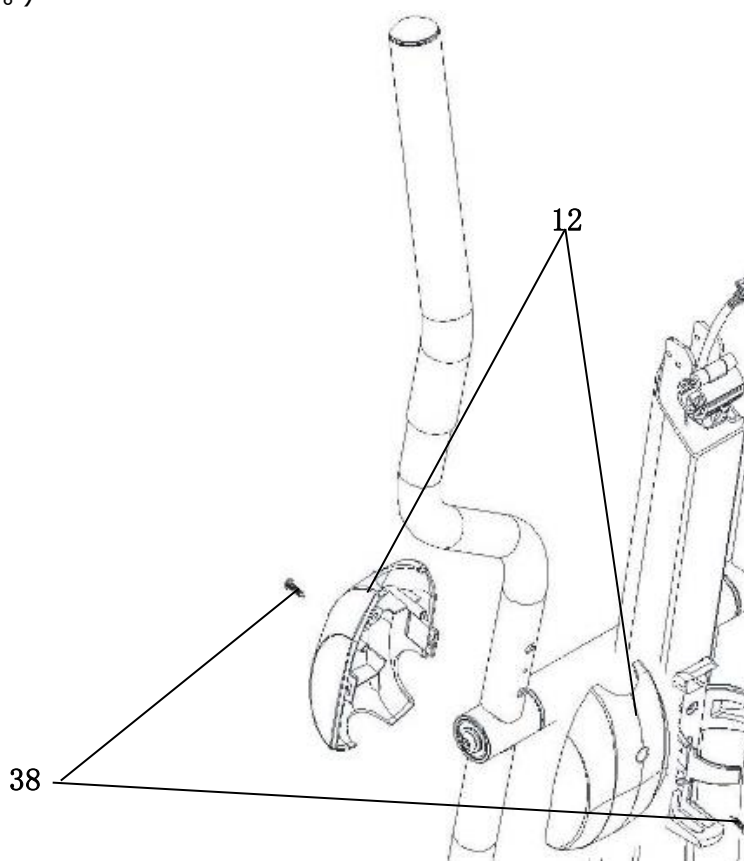
 40:40mm ボルト 4 本

 35:R ワッシャ 4 枚



<2> 12 : センターカバーを右図○印の位置に
取り付けます。(右・左両方取付けます。)

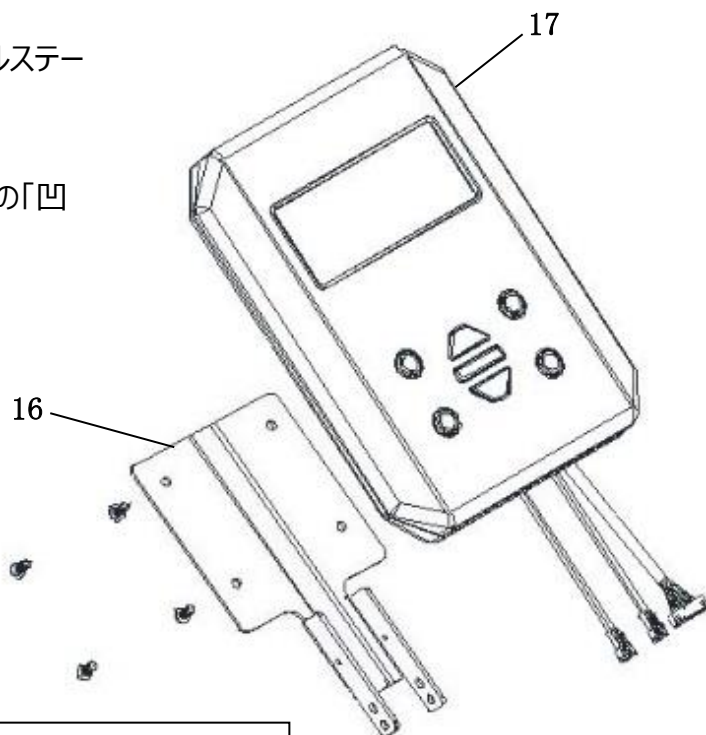
 38:+ビス 4 個



ステップ 5 (パネル・ハンドルの取付)

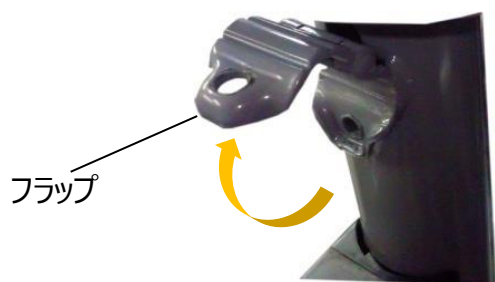
<1> 17 : パネル裏のビスを一旦外し、16 : パネルステー
を 17 : パネル裏に一旦外したビスで固定します。

17 : パネルから出ているコードは 16 : パネルステーの「凹
み」に這わしてください。

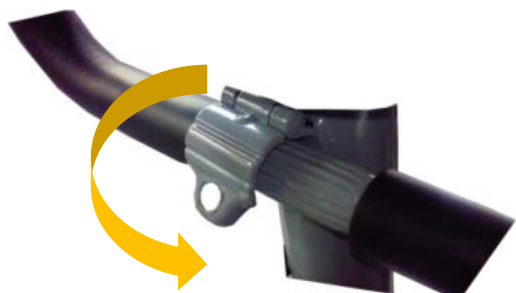


ワイヤーを通すときに他の
ケーブルを絡ませないよう
にしてください。

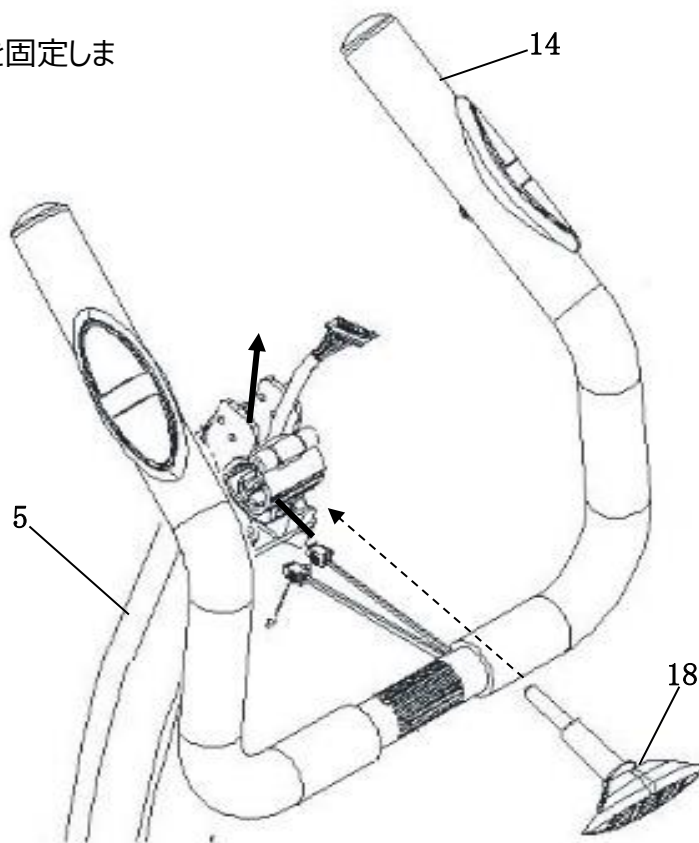
<2> 13 : ハンドルから出ているコネクタを 5 : ポスト内に
通し、18 : ハンドルボルトで 13 : ハンドルを固定しま
す。




<1> フラップを上げます。



<2> フラップを上げたところに 13 :
ハンドルを入れ、フラップを降ろします。



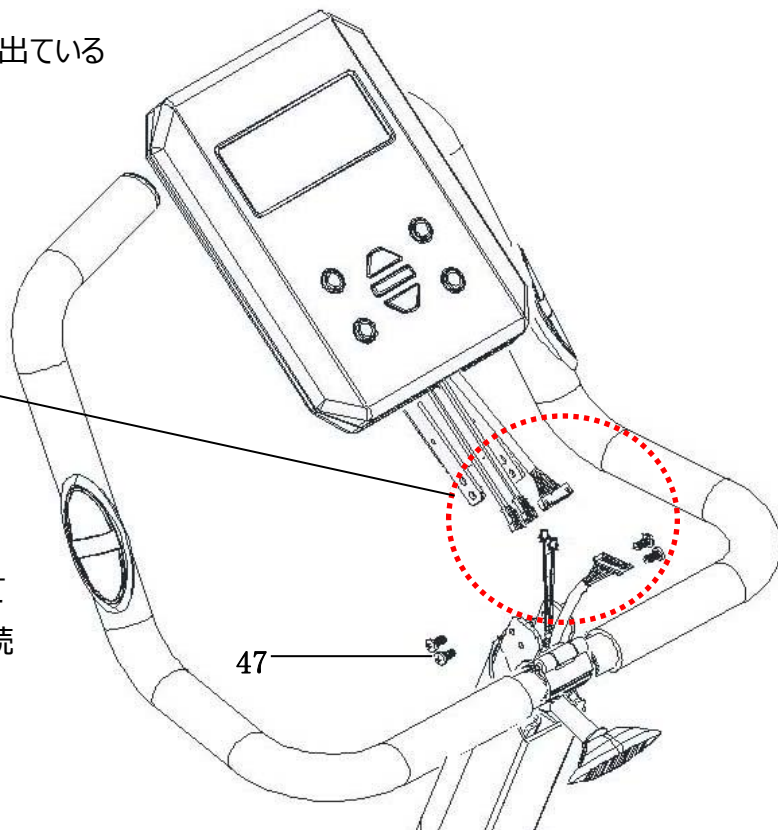
<3> <1> で組立てたパネル部と 5 : ポストから出ている
コネクタをそれぞれ接続したあと、5:ポストに
47 : ボルトで固定します。

 47:M5×10 ボルト 4本


パネルを取り付ける際にコードを挟まないように注意して取り付けてください。

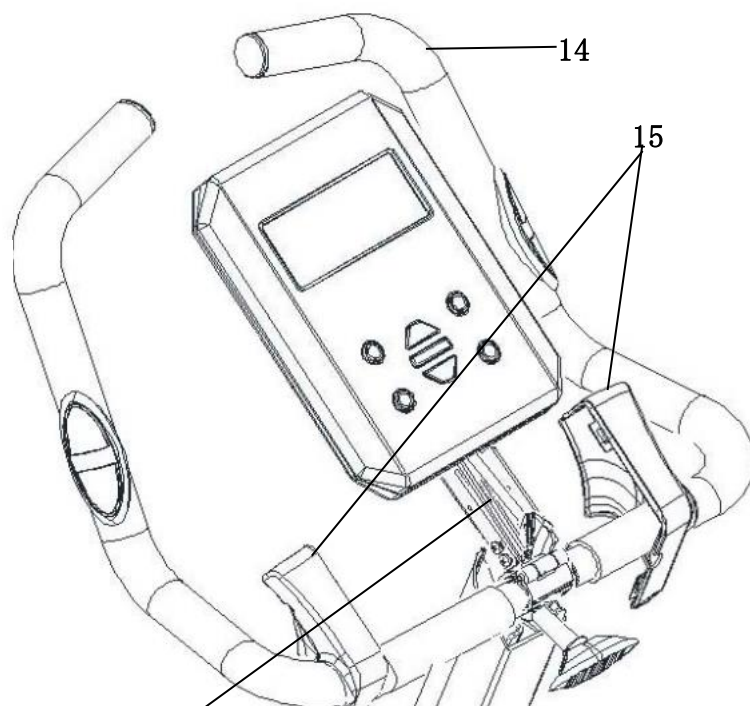
ワンポイント

配線のコネクタは、パネル側・本体側ともに3本出ていることを確認の上、オス・メス形状の合うものを接続してください。(形状の同じものが2か所ありますが、どちらに差し込んで大丈夫です)

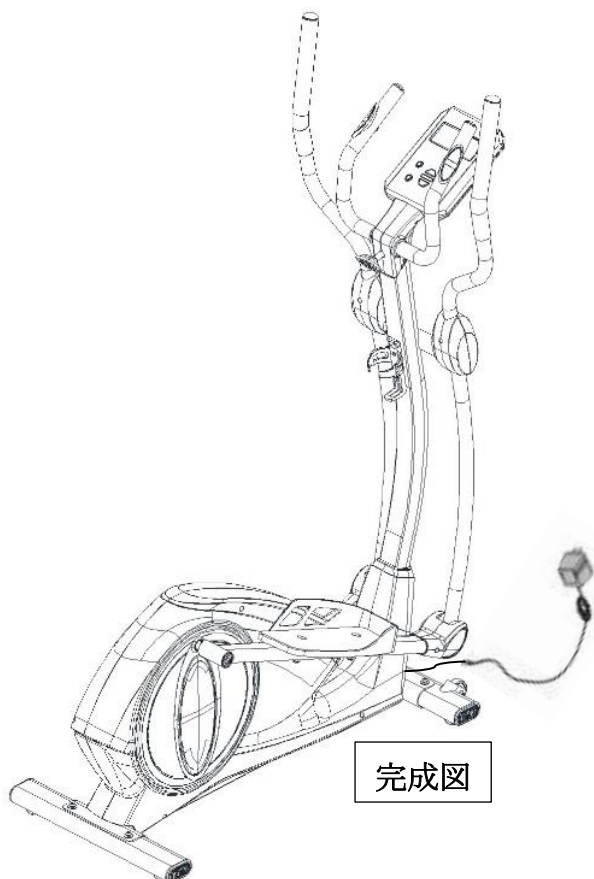


<4> 14 : ハンドルに 15 : ハンドルカバー左右
それぞれに入れて、48 : ボルトで固定します。

 48:M4×10 ボルト 4本



16 : ハンドルカバーを取り付ける際に
コードを挟まないように
注意して取り付けてください。



完成図

※組立は以上で終了です。緩み・ガタつきの
無いことを確認の上、設置をお願い致します。

パネル表示説明、操作方法

操作を一定時間行わない場合には、スリープモード（パネルの表示が消えます。）に入ります。



- ① RESET（リセット）：設定を「0」にするときに押します。（*総距離は「0」になります。）
- ② MODE（モード）：運動を行っていない時に時間、距離、カロリーの目標値を設定するキーです。
- ③ START/STOP（スタート/ストップ）：運動を始めるとき/終わるときに押します。
- ④ UP(アップ)：負荷を強める、数値を上げるときに押します。
- ⑤ RECOVERY（リカバリー）：リカバリー（簡易体力測定の項を参照）を行うとき押します。
- ⑥ DOWN(ダウン)：負荷を弱める、数値を下げるときに押します。
- ⑦ BODY FAT（簡易体脂肪測定）：運動を行っていない時に簡易体脂肪を測るときに押します。

パネル表示について

1. SPEED：速度が表示されます。**(連続して 30km/h を超える速度での使用はやめてください。)**
2. TIME：経過時間が表示されます。モードキーを押して任意に1分単位で設定してエクササイズが行えます。任意に設定した時間からカウントダウンし、0になったときに音がします。
3. DIS：運動を行っていた距離を表示をします。モードキーを押して任意に0.1km単位で設定してエクササイズが行えます。任意に設定した距離からカウントダウンし、0になったときに音がします。

4. CAL : 概算の消費カロリーを表示します。セットキーを押して任意に設定してエクササイズが行えます。任意に設定した時間からカウントダウンし、0 になったときに音がします。
5. WATT/LOAD : (WATT) ワットを表示します。(LOAD) 負荷を操作すると現在の負荷レベルが表示されます。
6. P : 脈拍数を表示します。両手でハンドル部のパルスを握ることにより測定できます。パルスを握らない場合、表示されません。

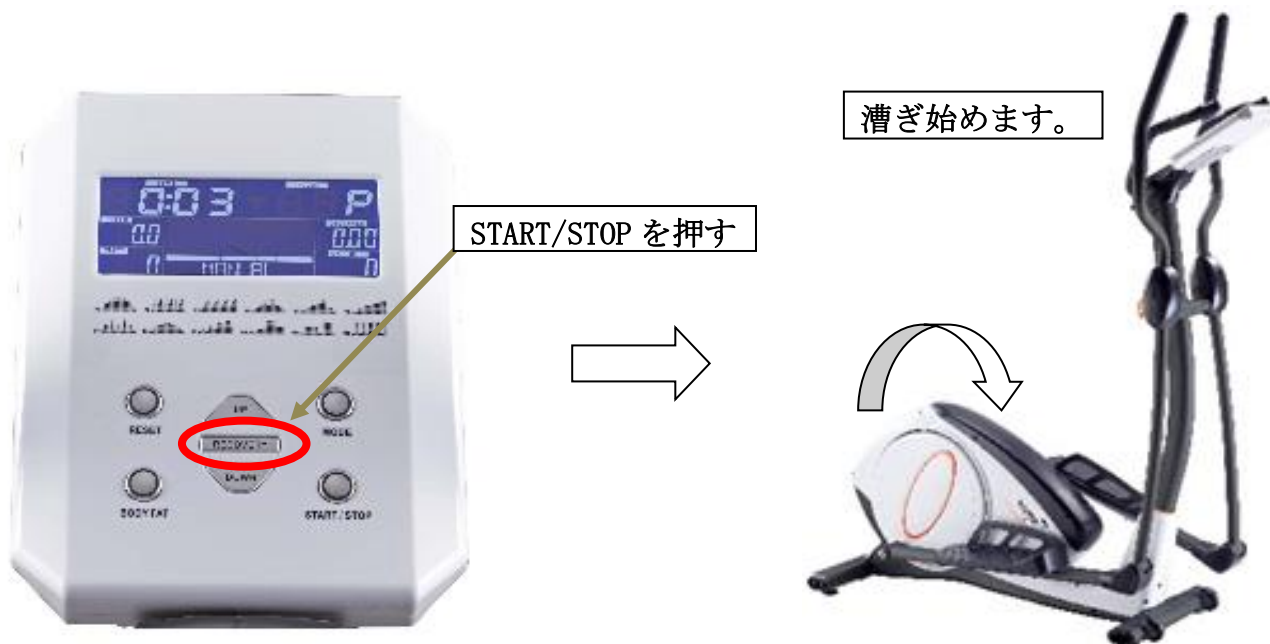
I. すぐに運動を始めるには・・・ (マニュアルモード)

<1> 本体に AC アダプターをさし、コンセントにプラグをさします。(電源の ON/OFF)

※本製品には電源スイッチがついておりません。AC アダプターを抜き差しすることによりパネルが点灯します。



<2> パネルが点灯したら「START/STOP」ボタンを押し、ペダルを漕ぎ始めてください。



<3> 運動を一時停止したい場合には、「START/STOP」ボタンを1回押してください。

再開する場合にはもう一度「START/STOP」を押してから、漕ぎ始めてください。

<4> 運動を終える際には、「START/STOP」ボタンを1回押してください。

終了する場合は一定時間放置するとパネルが自動的に消灯します。

<運動中に負荷（漕ぐ重さ）を変えたい場合には・・・>

パネルの「UP」又は「DOWN」ボタンをおして調整します。

*「UP」、「DOWN」のボタンを押し続けての負荷調整を行いますと、故障の原因になりますので、おやめ下さい。

UP (重くなる)

DOWN (軽くなる)



II. 目標を設定して運動をするには・・・（目標設定モード）

※プログラム全般を行う前に・・・（目標設定はすべての項目を設定する必要はございません。）

①電源を ON にしパネルに「USER」、「U1」と表示されます。（U1～U4 までは UP、DOWN ボタンで選択し MODE で確定させます。）

②-1 SEX（性別） MALE・FEMALE を“UP”、“DOWN”で選択し、“MODE”で確定させます。

-2 AGE（年齢）を“UP”、“DOWN”で選択し、“MODE”で確定させます。

-3 HEIGHT（身長）を“UP”、“DOWN”で選択し、“MODE”で確定させます。

-4 WEIGHT（体重）を“UP”、“DOWN”で選択し、“MODE”で確定させます。

以上です。

<1> 上記設定後、画面に「MANUAL」を点滅表示させ「MODE」を押し確定させます。

<3-1：目標時間設定>

画面の“TIME”欄が点滅しますので、「DOWN」または「UP」のボタンを押し、任意の数値にあわせ、「MODE」を押し確定します。（設定しない場合には“0”を設定してください。）



<3-2：目標距離設定>

画面の“DISTANCE”欄が点滅しますので、「DOWN」または「UP」のボタンを押し、任意の数値にあわせ、「MODE」を押し確定します。（設定しない場合には“0”を設定してください。）

<3-3：目標カロリー設定>

画面の“CALORIES”欄が点滅しますので、「DOWN」または「UP」のボタンを押し、任意の数値にあわせ、「MODE」を押し確定します。（設定しない場合には“0”を設定してください。）

<3-4：目標心拍数設定>

画面の“PULSE”欄が点滅しますので、「DOWN」または「UP」のボタンを押し、任意の数値にあわせ、「MODE」を押し確定します。（設定しない場合には“0”を設定してください。）

* 心拍数が目標値に達しても運動は終了いたしません。設定した数値になると警告音にてお知らせをします。

<4> “START/STOP”を押し運動を行うと設定した目標数値がカウントダウンしていきま。す。（設定していない数値はカウントアップしていきま。す。）

- 目標時間・目標距離・目標カロリーを同時に設定した場合、設定したうちのいずれかの目標が達成されると運動が終了いたします。
- 運動を中止する場合には“START/STOP”を押しください。
- 負荷は「DOWN」または「UP」のボタンを押し、任意の負荷に設定できます。

Ⅲ. 内蔵プログラムで運動をするには・・・（PROGRAM モード）

* 内蔵プログラムとは…負荷がランダムに変化をしていきま。す。

<1> 電源を ON にし、「※プログラム全般を行う前に」を設定しま。す。

<2> 画面中央に「MANUAL」が点滅している状態で、「UP」のボタンを押し、「PROGRAM」を点滅させて、「MODE」を押し確定させま。す。

「PROGRAM1～12」のお好みのプログラムを「UP」「DOWN」で 1 つ表示させ「MODE」を押し確定させま。す。

<3> 画面の“TIME”欄が点滅しますので、「DOWN」または「UP」のボタンを押し、任意の数値にあわせま。す。

<4> “START/STOP”を押し運動を行うと設定した目標時間がカウントダウンしていきま。す。

<5> 目標時間まで到達すると警告音が鳴り終了になります。

IV. ユーザープログラムで運動するには・・・（USER PROGRAMモード）

*ユーザープログラムとは…使用者が任意に 20 段階負荷をお好みに自動変化させる運動プログラムです。

<1> 電源を ON にし、「※プログラム全般を行う前に」を設定します。

<2> 画面中央に「MANUAL」が点滅している状態で、「UP」のボタンを押し、「USER PROGRAM」を点滅させ、「MODE」を押し確定させます。「USER S01～20」をお好みに負荷（LOAD）の数値を「UP」、「DOWN」させ「MODE」を押し確定させます。※これを「USER S20」まで繰り返し行います。

<3> “START/STOP”を押し運動を行うと設定した目標時間がカウントダウンしていきます。

<4> 警告音が鳴り終了になります。※ユーザープログラムでは「時間」設定はできません。

V. ハートレートモードで運動するには・・・（H.R.Cモード）

（ハンドルのパルス部分を握り続けないと行えません。）

<1> 電源を ON にし、「※プログラム全般を行う前に」を設定します。

<2> 画面中央に「MANUAL」が点滅している状態で、「UP」のボタンを押し、「H.R.C」を点滅させ、「MODE」を押し確定させます。

「H.R.C55、75、90、TARGET」のお好みのプログラムを 1 つ表示させ「MODE」を押し確定させます。

※心拍数は「※プログラム全般を行う前に」で設定した年齢に基づいた数値になります。

<3> 画面の“TIME”欄が点滅しますので、「DOWN」または「UP」のボタンを押し、任意の数値にあわせます。

<4> “START/STOP”を押し運動を行うと設定した目標時間がカウントダウンしていきます。

<5> 運動中に警告音なる場合は「目標心拍」に到達していない場合になります。

目標時間まで到達すると警告音が鳴り終了になります。

<4> -2 ご自身でお好みの心拍数を設定する“TARGET H.R.C”を選択した方は「MODE」を押し確定します。

<5-2> “TIME”のところを点滅し、目標時間を「DOWN」または「UP」のボタンを押し設定します。

（目標時間を設定しない場合でも運動を行うことができます。終了する際は、お好みのタイミングで終了させて下さい。）

<6-2> （START/STOP）を押し運動を始めます。設定時間になると警告音が鳴ります。

●このプログラムは心拍数を必要としますので、ハンドルパルスの部分を握り続けてください。

VI. ワット (Watt) モードで運動をするには

<1> 電源を ON にし、「※プログラム全般を行う前に」を設定します。

<2> 画面中央に「MANUAL」が点滅している状態で、「UP」のボタンを押し、「WATT」を点滅させ、「MODE」

を押し確定させます。 WATT 欄に「120」と表示されますので、お好みの WATT に数値を「UP」、

「DOWN」させ「MODE」を押し確定させます。

<3> 画面の“TIME”欄が点滅しますので、「DOWN」または「UP」のボタンを押し、任意の数値にあわせます。

<4> “START/STOP”を押し運動を行うと設定した目標時間がカウントダウンしていきます。

<5> 目標時間まで到達すると警告音が鳴り終了になります。

● 運動中は設定した数値をもとに適した負荷強度になりますので、負荷が急に重く・軽く感じる場合があります。

● 運動中“WATT”の設定数値の変更をすることが可能です。

● 運動を中止する場合には“START/STOP”を押してください。

● 運動中、負荷は「DOWN」または「UP」のボタンを押し、任意の負荷に設定できます。

体脂肪の測定方法 (*この機能は、あくまでも簡易的ですので参考程度にご使用ください。)

① 運動を行っていないあるいは一時停止している状態にし、パネルの“BODY FAT”を押します。

②-1 SEX (性別) MALE・FEMALE を“UP”、“DOWN”で選択し、“MODE”で確定させます。-2

“HEIGHT” (身長) を“UP”、“DOWN”で選択し、“MODE”で確定させます。

-3“WEIGHT” (体重) を“UP”、“DOWN”で選択し、“MODE”で確定させます。

③ ハンドル部のパルス部分をそれぞれ 10 秒ほど握ります。

④ 「BMI」・「FAT」の数値が出ます。(単位%)

● 測れない場合「E-1」が出ます。その場合、“BODY FAT”を押し、再度行ってください。

回復（リカバリー）（運動後の心拍回復度合いが計測できます。）

本機能を行う際、運動を行ってある程度心拍数を上昇させてから行ってください。

①“SPEED”を「0」の状態にします。

②パネルの“RECOVERY”ボタンをおし、ハンドルのパルス部分をそれぞれ 60 秒間握ります。

③パネルの“TIME”に 60 秒からカウントダウンをしていき「0」になったときに、

F1（回復に度合いが大変良い）～**F6**（回復度合いが大変悪い）の 6 段階で表示されます。

以下の場合には計測ができないことがあります。

* 運動中に本機能はご使用できません。

* 60 秒の途中で心拍センサーから手を離す。

* “RECOVERY”ボタンを押し、脈拍が計測できない時…等

この機能は簡易測定です、日々の運動の参考程度にご使用ください。

段差調整方法

前後スタンド下にそれぞれ 2 ヶ所あるゴム部分を

回すことで段差調整を行えます。

※本機は床面が平らな部分に設置してください。



故障かなとおもったら…

症状	原因	処置
パネルが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ・ACアダプターが本機・コンセントにささっていない ・接続コネクタがつながっていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ACアダプターをさしてください ・コネクタの接続を確認してください（ステップ2・5を参照してください）
パネルにE2が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ・電源関係の故障が考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売店等にご連絡して下さい
負荷が変化しない(カバー内からモーター音がしない)	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルまたは負荷モーターが故障している可能性が考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいパネルに交換する ・負荷モーターの故障
負荷が変化しない（重いままに変化しない）	<ul style="list-style-type: none"> ・カバー内のワイヤーが切れている可能性が考えられる ・負荷モーターの故障 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイヤーを交換する ・負荷モーターの交換
ステップ等の取り付けができない	<ul style="list-style-type: none"> ・左右を間違えている 	<ul style="list-style-type: none"> 右・左があるものは取付け部品の再確認、ネジ部分の回転方向などの確認願います
脈拍が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・接続コネクタがつながっていない ・パルス部をそれぞれ同時に握っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ5を参照に接続し直してください ・パルス部を同時に数秒間握ってください
コトコト音がする	<ul style="list-style-type: none"> ・ボルトが緩んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> 組立時のボルト等が緩み始めている可能性がありますので、各箇所の増し締めを行う ・ペダルのゆるみを確認、締め直し
グラグラする	<ul style="list-style-type: none"> ・床面が平らでない 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置場所をかえる ・アジャスターを調整する
ギンギン音がする	<ul style="list-style-type: none"> ・各ボルト等が緩んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・緩んでいるボルト等を一旦外しつけ直す ・アジャスターで調整する ・駆動部分に機械油を差す

お手入れ上の注意

- 汚れや使用後の汗等は、中性洗剤を薄めて含ませ固く絞った布で拭き、その後乾いた布でふき取ってください。
- 水をかけたり、シンナー・ベンジンなどで拭かないでください。
- パネルの汚れや汗、水分等は乾いた布で拭いてください。

保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品名	DK-8900家庭用 エリプティイカルバイク
保証期間	お買い上より1年間
お買上げ日	年 月 日
お名前	
ご住所	
TEL	— —

販売店：

- (1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。
- (2) 保証期間内に故障した場合は、お買上げの販売店にご依頼ください。その際には本書をご提示ください。
- (3) 保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。
 - お買上げ後の移動、落下、転倒等の故障及び損傷
 - 本来の使用目的以外、本書記載の注意事項違反による故障及び損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変・公害・塩害等による故障及び損傷
 - 保管上の不備による故障及び損傷
 - 不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 設置場所等の床面などの損傷
 - 本保証書の添付のないもの
 - 屋外にて修理を行う場合（建物の外、軒下、集合住宅の共用部等を含む）
- (4) 使用に伴う消耗品は、無償修理交換の対象になりません。
- (5) 一般家庭以外に使用された場合は、無償修理交換の対象になりません。
- (6) 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- (7) 保証期間が過ぎた後の故障については有償にて修理交換します。
- (8) 本保証書は日本国内のみ有効です。
- (9) 修理品については運賃、諸費用は原則としてお客様負担をお願いします。
- (10) 本保証書は、お買上げ年月日、販売店名、販売店印が記載されていないと無効です。
ただし、商品をお届けした際の配送伝票がある場合はその限りではありません。
- (11) 出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

フリーダイヤル：0120-25-1622

* 携帯電話、PHS、IP電話からのご利用になれません。

受付時間：平日 AM10～PM12時、PM1～5時までになります。

輸入販売元 **大広 株式会社**

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 3-41-4 2F

TEL：03-5652-5056 FAX：03-5652-5078

受付時間（平日 AM10：00～12：00 PM1：00～5：00）土・日・祝日休み